

# 峠の向こうは春

## 「受験勉強」と「自立」

3学期がスタートして約2週間、学習の進捗はどうか。これまでだったらテスト前に集中して勉強していたのが、この時期は毎日毎日ということですから、勉強の量は半端じゃないはず。そして、その毎日の勉強から「逃げ出したくなる→でもやらなあかん→やってみたらちょっと分かるようになった→でも本当に合格するんやろか？→不安になる、焦る→逃げ出したくなる」、この繰り返しかもしれません。それは、受験に対して立ち向かおうとすればするほど、みなさんが共通して思うことではないでしょうか？みなさんは、大丈夫ですか？仲の良い友だちとしゃべっているときの気分は、まだまし、ゲームをやっている時はストレス発散・・・でも、一人になると不安。授業では、2学期末にはあんなに集中していたのに、今は何か落ち着かない。そんなふうになっていませんか？心が孤独になっていませんか？

さて、今の時期、大きな話をすれば、これからのみなさんの人生において、高校受験のような状況は、また必ずやってきます。それは人によって違いますが、一度だけの人、あるいは二度三度の人など、いろいろです。

まず第一は、やはり勉強することです。私たち大人にとっては、一度通過してきた道なので、大所高所からいろいろなアドバイスも可能ですが、みなさんにとっては初めての経験でもあるので、不安も大きいと思います。しかし、その不安を打ち消すのは、やはり「勉強する」しかありません。勉強すればするほど自分が分かってないところが発見され不安になるものですが、勉強しなければその不安は一層高まります。ですから、ひたすら「勉強する」ことがみなさんが選ぶべき唯一の方法です。それは、受験方法が「推薦」「専願」「併願」のいずれであっても決して手を抜いてはいけません。受験内容が、「面接・作文」「3教科または2教科の入試」であっても、すべての教科の学習に対して、決して手を抜くことなく頑張ることが肝要です。

第二に、別の角度から述べるなら、人類の歴史において、多くの困難がありました。世界史的に言うと、今は21世紀ですが、20世紀はアジア・アフリカの人々が欧米列強の植民地支配からの独立を果たしてきた時期です。インドでは、ガンディーを先頭にイギリスの不当な支配からの独立運動が起こりました。「非暴力・不服従」の理念の下に、インドの人々が団結して独立を勝ち取りました。最近の日本で言えば、例えば、1945年敗戦後の復興、阪神淡路大震災からの復興、東日本大震災からの復興、災害からの復興……。その時、人はどうしたか？「自分のことは横においてでも他人を助ける」「昼はボランティア、夜は受験勉強（先日の進路通信より）」「助け合い」「連帯」「絆」……。人間という動物は、努力すればするほど勉強すればするほど賢くなります、そして困難にぶつかった時には、助け合うという習性を持っています。それは、人間という動物が持つ本能です。別の言い方をすれば、困難なことがあれば助け合うように人間はできていると言っても過言ではありません。「心が孤独になっている」人、あなたにも人間らしさがあります。「助け合うこと」「連帯すること」、それはだれにもあります。大切なのは、今のクラスの中で、それが出せるかどうかだと思います。

## これから大切にしたいこと

さて、そこでこの受験勉強の中、少し立ち止まって考えてほしいことがあります。

みなさんは、受験勉強を通して、中学校卒業後の進路を決定し、新たな生活をスタートする切符を手に入れます。そして、いよいよ義務教育終了と同時に、高等学校という次の段階での生活が始まります。「学校」というレベルでは、そのように理解していいと思いますが、一人の人間としては、「自立」への道を本格的に歩むこととなります。ところで、「自立」とは何を持って「自立」と言えると思いますか？自分一人でお金を稼いで暮らせることでしょうか？親から独立することでしょうか？何でも自分でできることでしょうか？学校を卒業したら、世間の荒波にもまれる、だから同じ目標を持つ人たちとの競争に打ち勝つことが「自立」と言うのでしょうか？「結果」を出せる力がついた状態のことを言うのでしょうか？人に頼らず弱音を吐かずに生きることでしょうか？

### つながる力・リスペクトできる力⇔マウントを取る行為

みなさんに大切にしてほしい「自立」とは、お互いの弱みや強み、存在を認めながら、「つながって生きる力」であったり「意見が違う人をリスペクトできる力」ではないでしょうか。

確かに、世の中には比較と競争の中で、「君のためになる」と言われて成果と結果にこだわる流れがあります。また、「マウントを取る」という言葉もあります。「マウントを取る」とは、自分の優位性を相手や周囲に示す行為を指します。また、「私はできるけど、あなたは・・・」「私の考えが正しい」「批判するのなら対案を持って来い」といったけんか腰の発言や行為もマウントを取る行為です。マウントを取る人の特徴は、まず他人（特に意見の違う人）に対する敬意（余裕）がない、承認欲求が強い（自分がやったことを認めてほしい、他人が言わなくても自分で「〇〇は成功した」と言う）、でも実は自信がない（やりたくないことをやってほしいと言われると急に弱気になる）、そして自己中心的な性格（敬意がないために他人に任せることができずオレがオレがと出てくる）であると言え、いつの間にか他人の心を傷つけているのにそれに気がついていません。このようなことが今後、自分の学校や職場にあるのなら、本当に大変です。みなさんには、そうはなってほしくありません。

そうならないために、三つのことが大切ではないでしょうか。一つには、たとえ意見が違って感情的攻撃的にならず、まずリスペクトする立位置にいること、二つには、誰かを助けてつながって生きるあるいは、誰かに助けてもらってつながって生きるということです。三つには、誰かと一緒に楽しいこと、やりたいことを目一杯してつながって生きるということです。気がついたら、そこには頑張っている自分がいて、一緒に頑張った誰かがいてくれるのです。そんな時に、「俺って頑張れた！」「私、自信持っていていい？」と思える、それが「自立」だと思います。

さて、三中での生活も、3月15日の卒業式まで、2ヶ月を切りました。先生たちもみなさんも同じことを言ってきました。「この行事を通して、仲間関係を深めたい」「クラスみんなの思いをひとつにして優勝をめざそう」「クラスみんなで協力してひとつのものをつくりあげよう」と。この言葉は、本当だと思いますし、人間らしいすばらしい考え方は、それらのことの集大成が「クラスみんなの進路を実現する」という取組です。

クラスは、進路実現のための勉強と人間らしく助け合うという二つのことが並行してできるすばらしい場所です。ここで、みなさんは、学力を伸ばし、人から助けってもらうこと、助けることを学んでいくのだと思います。その営みは、高校に進学しても、社会に出ても必ず生きてきます。そういう経験を経て大人になると、そういう経験をしないまま大人になるとでは、随分違うことでしょう。これからの2ヶ月を大切にしてください！

